

# 地域の支え続けていくことを決意 ものづくり

## 新潟県央工業高校創立110周年記念式典

# 全校生徒、同窓会員、来賓など500人出席

三条市東成寺、県立新潟県工業高校（松原直樹校長・生徒1百八十二人）と、創立110周年記念式典実行委員会（実行委員長・松嶋嘉彦同窓会長）は、二十七日午後一時から同校禮堂で、創立百周年記念式典を開き、全校生徒や来賓など関係者合わせて約五百人が学びの節目を祝い、今後の地域のものづくりの産業を支え続けることを誓った。



校歌を唱える生徒

校、二十七年学制改訂後の新潟県工業高等二年生百二十一人（二）員長は、三条工業学校で創立した歴史の出のみなぎ、総合的な人材の育成が、この輝かしい歴史を継承し、引き継いでいきたい。熱とチャレンジ精神を、を身に付けてほしい。松嶋嘉彦同窓会長は、創立百周年記念式典の意義を語り、今後の地域のものづくりの産業を支え続けることを誓った。

式典は、松嶋嘉彦同窓会長が、新型コロナウイルス感染症の流行後、後継者が不足する中で、地域の産業を支え、ものづくりの力を高め、世界に貢献することを誓った。松嶋氏は、創立百周年記念式典の意義を語り、今後の地域のものづくりの産業を支え続けることを誓った。

式典は、松嶋嘉彦同窓会長が、新型コロナウイルス感染症の流行後、後継者が不足する中で、地域の産業を支え、ものづくりの力を高め、世界に貢献することを誓った。松嶋氏は、創立百周年記念式典の意義を語り、今後の地域のものづくりの産業を支え続けることを誓った。

式典は、松嶋嘉彦同窓会長が、新型コロナウイルス感染症の流行後、後継者が不足する中で、地域の産業を支え、ものづくりの力を高め、世界に貢献することを誓った。松嶋氏は、創立百周年記念式典の意義を語り、今後の地域のものづくりの産業を支え続けることを誓った。

式典は、松嶋嘉彦同窓会長が、新型コロナウイルス感染症の流行後、後継者が不足する中で、地域の産業を支え、ものづくりの力を高め、世界に貢献することを誓った。松嶋氏は、創立百周年記念式典の意義を語り、今後の地域のものづくりの産業を支え続けることを誓った。



開会あいさつをする松嶋嘉彦同窓会長

式辞を述べる松原校長



祝辞を述べる滝沢三条市長

喜びの言葉を述べる鈴木佳生会長



「スーパー・サザン・コム・マシン」こと坂井良宏さん

引継ぎ継いでいきたい。松嶋嘉彦同窓会長は、創立百周年記念式典の意義を語り、今後の地域のものづくりの産業を支え続けることを誓った。松嶋氏は、創立百周年記念式典の意義を語り、今後の地域のものづくりの産業を支え続けることを誓った。

2023年（令和5年）  
10月29日 三條新聞

カキのトランプ  
キドクスター  
2023年10月29日